



★取材日のトップは大西釣具工房の大西了路さんで51尾

東京湾の春シロギスは テクニカルで楽しい時期

東京湾奥葛西橋出船

撮影●鈴木良和

▶オモりは15号が標準。付けエサはアオイソメ



▲テクニカルなシロギス釣りも面白い



▲釣れれば20センチ前後の良型が多い

▶この時期は胴つき仕掛けのほうが有利とか



▲大西さんは2本竿で数をのばしていった

▼パターンがハマれば連チャンもある



▲今では珍しい良型のメゴチも釣れた

シロギスにはだれでも手軽に数釣れる楽しさもあるが、難解なアタリに掛けて数をのばすテクニカルな面白さもある。それが水温の下がる3〜4月の時期。目下は中ノ瀬20メートルダチなどで20センチ前後の良型主体に釣れているが、数のほうは釣り手の技量によって大きく差がつくことがある。まるでマルイカやカワハギ、テンヤチウオのようだが、その難しさこそがまた行きたいという釣欲をかき立てる。元祖テクニカルターゲットとも言える東京湾のシロギス、この機会に一度楽しんでみてはいかがだろうか。
(詳細は48ページ参照)

